

<修士課程：医科学専攻>

研究テーマの妥当性：

研究テーマ・問題設定が明確で、問題設定に妥当性・独自性が認められるか。

研究の背景が明示され、問題設定に対応した結論が明確に提示されているか。

研究方法と論旨の展開：

問題解決に対応した適切な研究方法が用いられているか。

データや資料などを十分に踏まえた論理的展開がなされているか。

文献などの研究資料の読解が正確で、論理展開に有効に用いられているか。

学術的意義：

説得力のある成果が提示されているか。

当該研究の限界が明示されているか。

未解決の問題について、今後の見通しが提示されているか。

論文構成：

論文の構造が明確に提示され、形式が整っているか。

文法的・語法的に正しく、明確かつ適切な表現で書かれているか。

倫理的配慮：

研究の対象となる個人の人権擁護、個人の尊厳および人権が尊重されているか。

ヘルシンキ宣言や個人情報の保護に関する法律を踏まえているか。